



校長の日比野です。

この4月に甚目寺西小学校の校長として赴任した日比野時久です。

前年度までは、愛知県教育委員会海部教育事務所に勤務しておりました。あま市内の学校に勤めるのは、はじめてですが、甚目寺は、昔からとても馴染みのあるまちです。

今年度から、本校も含めて、あま市内のすべての小中学校で2期制がスタートしました。

4月9日(月)に行いました、前期始めの式では、全校児童にこんな話をしました。

『校長先生には、2つの願いがあります。一つは、「甚目寺西小学校のみなさん、一人ひとりが、人として成長してほしい」という願いです。成長するということは、勉強ができるようになる、運動ができるようになる、体が丈夫になる、心が豊かになる、そういうことをすべて含めて、成長してほしいと願っています。

もう一つは、「甚目寺西小学校をいい学校にしたい」という願いです。いい学校にするには、どのクラスも、どの学年も、どの委員会も、どの通学団も、いいクラス、いい学年、いい委員会、いい通学団であって欲しいと願っています。

この二つの願いを叶えるために、校長先生は、一生懸命頑張っています。校長先生だけでなく、すべての先生方も、頑張ってください。だから、みなさんも、自分が人として成長できるように、そして、いいクラス、いい学年、いい学校、いい委員会、いい通学団にするために頑張ってください。』

私の他に、杉浦祐子(教務主任)、宮崎里美(1年2組)、澤田式絵(ひまわり2組)、伊藤まゆみ(養護教諭)、窪田健司(少人数指導)、飯田明(少人数指導)、間野美也子(初任研補充)、ウィリアム・マッシー二(ALT)、牛田裕美(配膳員) が転任してまいりました。私ともども、よろしく願いいたします。

聞く子は よい子

先日の朝礼で、こんな話をしました。

『毎日、学校では、担任の先生が一生懸命授業でいろいろなことを教えてくださいます。先生が言葉で話して、それをみなさんが聞いていますね。それをしっかり聞いている人が、どんどん伸びていきます。このことは、大人になってからも、とても大切なことなんです。校長先生も、これまでたくさん子どもたちと勉強してきました。思い起こしてみると、きちんと話を聞ける子は、みんな、どんどん成長していきました。どうか、みなさんも、しっかり人の話を聞いて、どんどんいろいろなことを学んで、成長して行ってください。ちゃんと話を聞ける子はよい子です。「聞く子は よい子」。です。』

子どもたちは、私の話を、きちんと聞いていました。学校の先生、おうちの人、地域の人、友達の話、素直な心でちゃんと聞ける、そんな子どもたちであってほしいと願っています。

甚目寺西小 入学式



4月6日(金)
男子29名、女子
32名、計61名が
入学し、仲間入りを
果たしました。



おめでとう集会



4月13日(金)
全校児童で遊んだり歌
を歌ったりして、入学を祝
いました。

